



国際交流員の活動日誌

vol.67



「ハロウインのトリック」 Tricks on Halloween

10月31日は子どもの大好きなハロウィンです。私もハロウィンが大好きな子どもの人でした：というよりも、大人になっても一番好きな行事です。毎年新しいコスプレを考えて、友達と近所を歩いてお菓子を貰うのをすごく楽しみにしていました。あまり話さない近所の方と顔を合わせる機会であり、連帯感を作る行事でもあります。お菓子を貰うたびにコスチュームを褒めてもらえるのでうれしかったです。トリックオアトリートに参加できない歳になって

も、ハロウィンに違う方法で参加していました。私と友達が干し草で作られた人形の飾りを装って、子どもが家に来ると動いてびっくりさせました。近所にあった庭木の中に隠れて、人が通ったら飛び出したりもしました。もちろんお菓子もあげました。皆さん少し勘づいていますし余計なトラウマを与えないように、小さい子どもには手加減しました。皆さん今年は気をつけてください。どこかの草の中に隠れているかもしれせん！
(ララ)

地域の魅力 ふる里再発見

松前・梁川藩から館藩へ - 2 - ～梁川藩の家臣団～

令和4年度第2回企画展
松前・梁川藩から館藩へ
12/26(月)まで
伊達市保原歴史文化資料館

文化4(1807)年に、松前氏は蝦夷地(現北海道)から梁川に移封(11国替え)されてきました。移封にあたって、新領の石高では330人あまりの家臣を召し抱えることはできず、家臣のリストラが行われました。

家臣が減少したとはいえ、梁川に移住してくると家屋を建てなければなりません。文化5年からは陣屋(旧梁川城を改修)、長屋・家士屋敷・牢屋・御蔵が着工し、翌年には各建物が完成しました。この時期の町並みの様子は、「梁川御在所中之絵図」(北海道博物館所蔵)に描かれています。124人に縮小された梁川藩の家臣団は、席(格式)が簡素化されました。当時の武士たちはこの格式の秩序の中で生きており、格式は自身の誇りに関わるものでした。表は、文政4年時点の梁川藩家中を表したものです。松前氏がこの地を

支配したのは14年の短い間でしたが、家臣は移封時より少し増加し、133人になっています。

※席(格式)の簡素化：例えば以前はより細分化されていた複数の職を統一することで人数を減らすなど。

合計		文政4年梁川藩家中																								
隠居	定府	足軽	鍵取	下代理	料取	徒士	松前住	諸士末	大広間	中書院詰	准寄	寄合	御側	台子之間	目付御側	近習頭詰組	勘定奉行	寺社町郡奉行	用心	中老	家老	席・役・番	定数	席	実数	
131	10	16	24	2	1	2	13	1	3	22	3	6	3	3	12	2	2	2	1	1	1					
家数	無	江	足	小	徒	無	勤	侍				寄	医	侍	詰				御							
99	勤	戸	軽	役	士	侍						合	師	組					役							
133	10	16	24	5	13	1		26			9	3	15	2					9							